

# 第 7 回 北 信 野 球 の 日 実 施 報 告

令和 6 年 1 2 月 1 日 (日)

※関係のべ人数3310名

## 普及イベント

長野オリンピック  
スタジアム

第1部9:30~11:30  
第2部12:30~14:30

関係者総数名2191名

## 継続イベント

野球教室  
2会場

関係者総数：356名

野球交流会  
12会場

関係者総数：763名

普 及 イ ベ ン ト  
対象：野球未経験者

入場者数 1751名  
(受付フォーム結果)  
運営スタッフ440名



運動プログラム



ラグビー体験



ストラックアウト  
スピードガン体験



ソフトボール体験



ホームラン体験



ソフトボール  
VS  
野球



キャッチボール体験



# 野 球 教 室

関係者356名  
 対象：少年野球4年生 262名    スタッフ：94名

## 信濃グランセローズ

中野立志館会場



参加  
少年野球  
136名

## 信越硬式野球クラブ

信越グランド会場



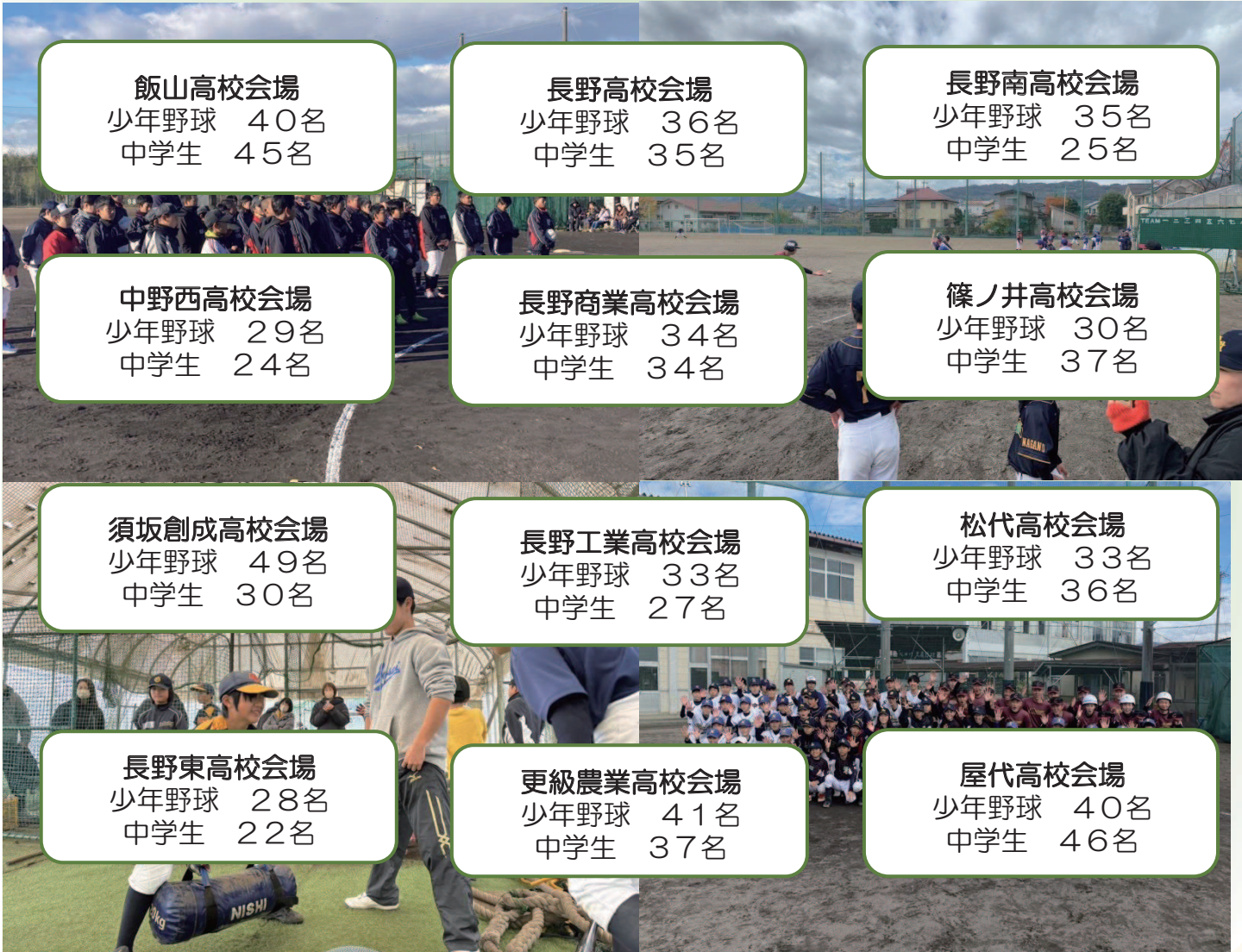
参加  
少年野球  
126名

信濃グランセローズ選手 10名  
 中野立志館高校野球部員 4名  
 中野西高校野球部 34名

信越硬式野球クラブ選手 19名  
 長野工業高校野球部員 27名

# 野 球 交 流 会

参加者828名  
 少年野球高学年388名    中学軟式・硬式440名



**飯山高校会場**  
 少年野球 40名  
 中学生 45名

**長野高校会場**  
 少年野球 36名  
 中学生 35名

**長野南高校会場**  
 少年野球 35名  
 中学生 25名

**中野西高校会場**  
 少年野球 29名  
 中学生 24名

**長野商業高校会場**  
 少年野球 34名  
 中学生 34名

**篠ノ井高校会場**  
 少年野球 30名  
 中学生 37名

**須坂創成高校会場**  
 少年野球 49名  
 中学生 30名

**長野工業高校会場**  
 少年野球 33名  
 中学生 27名

**松代高校会場**  
 少年野球 33名  
 中学生 36名

**長野東高校会場**  
 少年野球 28名  
 中学生 22名

**更級農業高校会場**  
 少年野球 41名  
 中学生 37名

**屋代高校会場**  
 少年野球 40名  
 中学生 46名



(各ブロックの決勝に進出した8チームの集合写真)

## 第2回長野県ティーボール大会 開催報告

長野県野球協会と北信地区野球協会は11月23日(土)にU-10(小学1~4年生)対象の「第2回長野県ティーボール大会」を選手約300人、家族や指導者ら約900人、計約1,200人の参加のもと、長野オリンピックスタジアムで盛大に実施しました。

ティーボールは投手が投球する代わりに、棒状の台(バッティングティースタンド)にボールを置き、バットで打つ競技であり、野球への入り口として親しまれています。今回は第2回大会ということで、連続出場したチームを中心にスピード感のあるプレーやアグレッシブなプレーも多く見られました。普段は基本練習に偏りがちな年齢の子も試合の中で動きを学んだり、声を掛け合ったりする姿があり、野球の楽しさの一端に触れる機会となりました。何より「チームの一員として大会に参加し、プレーできた時間は今後のモチベーションアップにつながる」と各チームより声が寄せられました。

### 【力を込めてバッティング!!】



### 【塁間16m 全力疾走☆】



太陽の光が射し、野球日和の中、東北信地区の計24チームが参加しました。その中には県内各地からの個人として参加する子どもたちの姿もありました。4ヵ所の特設ダイヤモンドで、4ブロック各6チームに分かれ、順位を決める予選リーグと一発勝負の決勝トーナメントを実施しました。接戦の試合が多く、最後の打者まで勝敗がわからない好ゲームばかりでした。信越硬式野球クラブのご協力ですmoothな試合進行ができたことも、ありがたいことでした。

### ★★試合結果★★

	優勝	準優勝
Aブロック	みゆき野ティーボールクラブA	延徳ネクサスライオンズ
Bブロック	南部上高田少年野球	長野東 junior
Cブロック	望月リーグ	御厨神宮少年野球
Dブロック	上田南	みゆき野ティーボールクラブB

## ★★優勝チーム★★

みゆき野ティーボールクラブ（飯山市）



南部上高田少年野球（長野市）



望月リーグ（佐久市）



上田南（上田市）



今大会も「野球やソフトボールを始めるきっかけとなってもらいたい」「打つ・捕る・投げるといった競技性に触れ、楽しさを味わってもらいたい」「子どもが楽しむ姿を保護者に見てもらい、一緒に楽しんでもらいたい」という願いをもって大会を運営しました。選手全員が参加できる試合形式が共感を呼び、笑顔と歓声の絶えない大会となりました。保護者からは「普段は試合に出ることがないので、試合をしている姿が見られて嬉しい」「子どもが楽しかったと言っていた」「伸び伸びプレーしていて雰囲気よかった」などの声が寄せられました。

### 【広々とした人工芝へ気持ちよくスイング】



### 【お母さんも指導者も楽しく応援！！】



子どもたちの真剣な眼差しと笑顔は未来へつながる宝物です。今大会を通じて、昭和の時代に小学校の校庭でバットを用いずに手でゴムボールを打つ「ハンドベースボール」で仲間たちと楽しんでいた光景が連想されました。小学生にとって、投手がストライクを投げ続け、打者が正確に打つのは難しいものがあります。その点でティーボールは5、6年生で野球を本格的に始める先駆けとして取り組む競技としてふさわしいと感じました。練習試合や紅白戦でティーボールを行ってみてはいかがでしょうか。

野球人口の底辺拡大と野球振興をめざす長野県野球協会は、来年度も北信地区野球協会とともに、「プレーをする楽しさ」と「勝敗を競う楽しさ」を融合した第3回大会を開催したいと考えております。併せて、今後、ティーボールが他地区にも広がるように、発信に努めてまいります。